

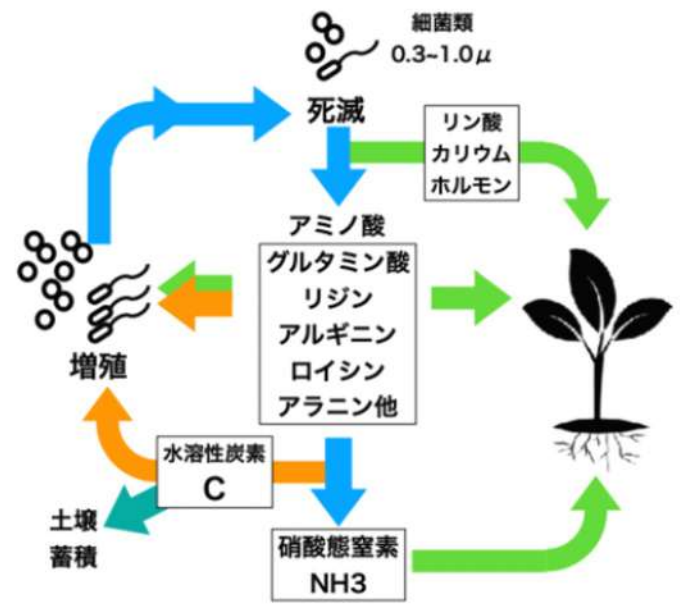


10aあたり

投入窒素 **2 kg**
(基肥 1.4kg / 追肥0.6kg)

収量 **600kg**

浅耕により分解範囲の限定 →
微生物バイオマスによる地力窒素の出現



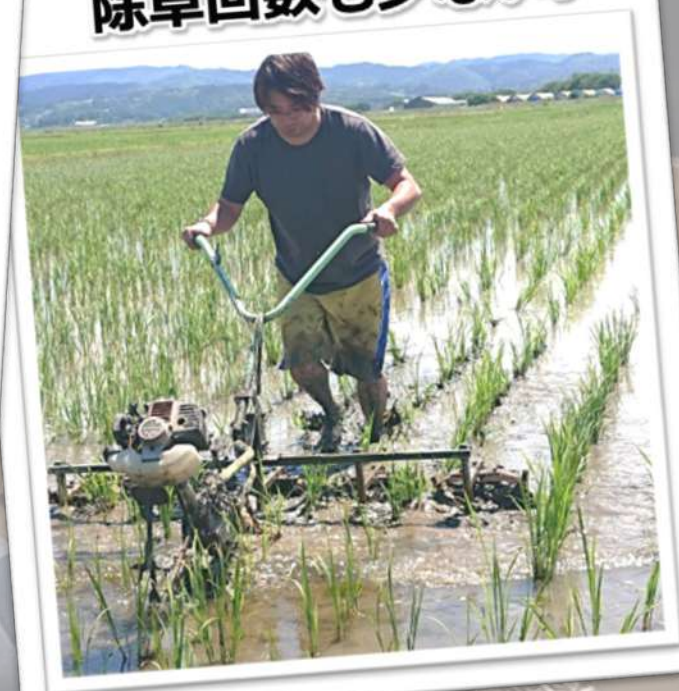
追肥の液肥 (流し込み)



還元層の形成



茎数が少ないが粒数が多い。浅いので作業が楽。
除草回数も少ない。



地域内未利用資源の活用でコスト減

有機農業25%実現の鍵



- ・木タテ養殖残渣
- ・鶏糞、牛糞、豚糞
- ・粃殻
- ・りんご絞りカス
- ・食品残渣
- ・汚泥
- ・落ち葉 など





くろいし有機農業推進協議会メンバー 津川 大樹さんのミニトマト (有機2年目)¹⁵

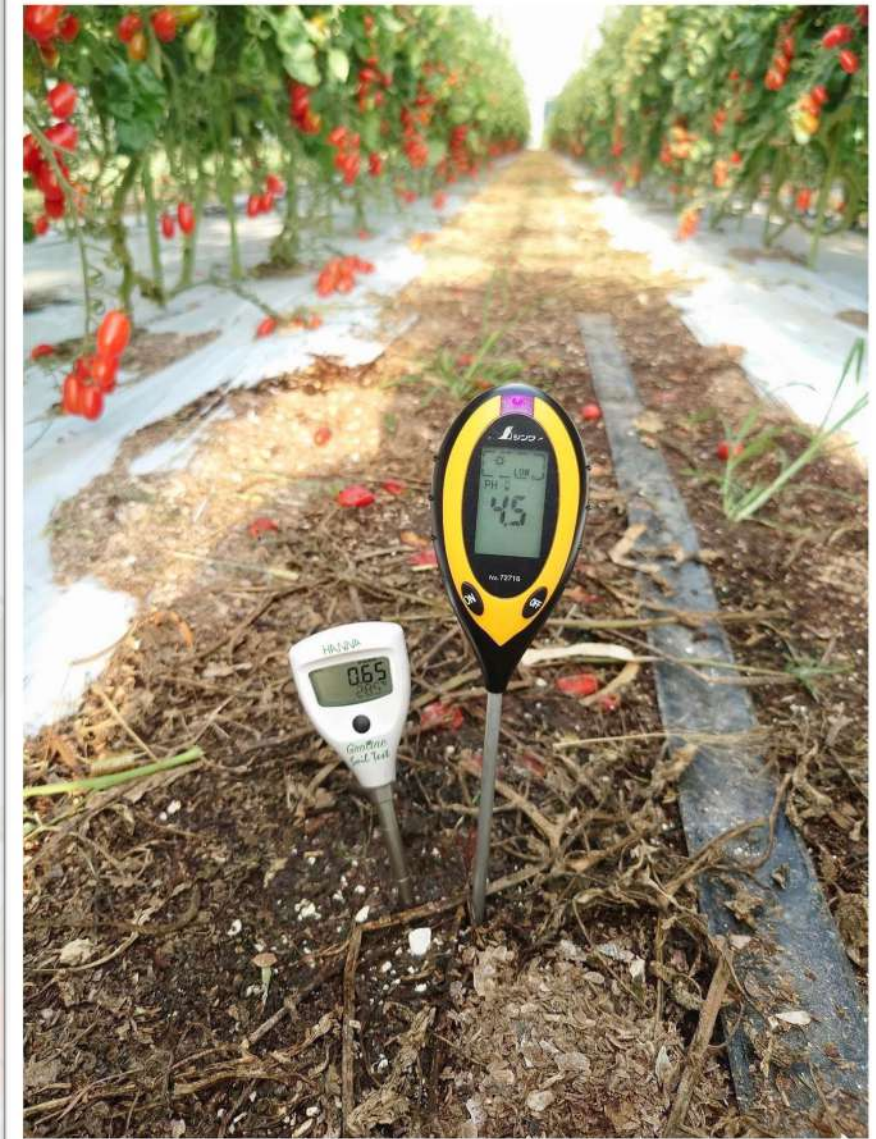


ホタテ養殖残渣堆肥
pH=8.1~8.5
(100坪に4t。
表面5~8cmが堆肥)

しかし…土のpHが4.5!

**BLOF理論の
「溶かして
吸わせる技術」**

残渣がすぐに分解。
通路が堆肥場。





大豆との輪作で減肥 (有機転換の鍵)



晩播狭畦密植栽培

7月28日播種 → 11月26日刈取前

